

大台町持続可能な診療所運営計画(案)に対するパブリックコメント結果について

1. 意見募集期間 令和7年9月8日（月）～10月7日（火）
2. 閲覧方法 町ホームページ、役場健康ほけん課、報徳診療所、または各出張所窓口
3. 意見の提出方法 直接窓口へ提出、郵送、FAX、電子メール、Web
4. 意見の提出者数 3名
5. 意見件数 5件
6. 町の考え方区分と件数

区分	項目	件数
ア	意見を何らかの形で反映させたもの	0
イ	意見がすでに反映されているもの	2
ウ	意見を今後の取組の参考にするもの	1
エ	反映又は参考にすることが難しいもの	1
オ	計画（案）の内容以外に対する意見 （ア～エに該当しないもの）	1

7. ご意見の趣旨と町の考え方

いただきましたご意見は内容や趣旨を損なわないよう一部要約して掲載しております。ご了承ください。

番号	該当 頁	意見の概要	大台町の考え方	町の考え方 区分
1	5	3 (2) 在宅医療について 在宅死を望んでも救急車を呼ぶとその願いは叶わないため、時間を問わず往診していただける体制を整えてほしい。	在宅での看取りを望まれる方への対応は、地域医療において重要な課題と認識していますが、医師1名体制では時間外の往診などに対応することが難しい状況です。 町民の皆様が安心して在宅療養や看取りを選択できるように、医療・介護の関係機関が連携し、引き続き取り組んでまいります。	エ
2	10	3 (7) 診療日時について 旧宮川地域は高齢者が多く救急搬送は大台厚生病院となる場合が多いが、担当医や検査技師が不在ということで、松阪地区へ搬送されることが多い。報徳診療所が規模縮小されると大台厚生病院の存在がますます重要になると思われる。病院経営の視点から難しいと思われるが、地域住民が安心できるよう、外来診療や救急時の受け入れについて、大台厚生病院、大紀町、大台町で十分に協議を行ってほしい。	宮川地域は高齢者が多く、救急搬送の体制は町民の皆様への安心に直結する重要な課題と認識しております。 報徳診療所の規模縮小後も地域医療体制が維持できるように、大台厚生病院や他医療機関、大紀町、大台町で丁寧に協議を行い、地域全体で協力し町民の皆様が安心して暮らせる医療環境の整備に努めてまいります。	ウ
3	12	3 (9) 職員体制について R10年度以降、医師1名体制になるが、休暇取得時の代診医派遣をお願いしたい。	代診医の派遣は、三重県が設置したへき地医療支援機構が調整し、県内のへき地医療拠点病院から医師の派遣を行っているため、へき地医療支援機構に依頼し対応する予定であり、p12に記載しています。	イ

番号	該当 頁	意見の概要	大台町の考え方	町の考え方 区分
4	1 2	担い手確保のために、紀宝町が行っているような取り組み（2025 年 8 月 24 日中日新聞 全国から 3 年間で 140 人の医学生を受け入れ）を検討されてはいかがか。	診療所でも、三重県が行うへき地医療体験実習や三重大学医学部の 1.2 年生を対象に行う地域実習を受け入れ、松阪市民病院の臨床研修協力施設として初期研修医の地域医療研修を行っています。 持続可能な診療所運営が行えるよう、学生や研修医の受け入れを行い、へき地診療所の業務内容について理解を深めていただき、医療職確保を目指してまいります。	オ
5	全体	何もかも時代の流れに応じて見直しは必要であり、この案に賛成します。一部の地域が恩恵を受ける施設に過剰に税金を投入すべきではないと思う。	いただいたご意見を参考に、厳しい経営状況を自覚し、定期的に業務の見直しを行い経費削減や経営改善に努めてまいります。	イ